

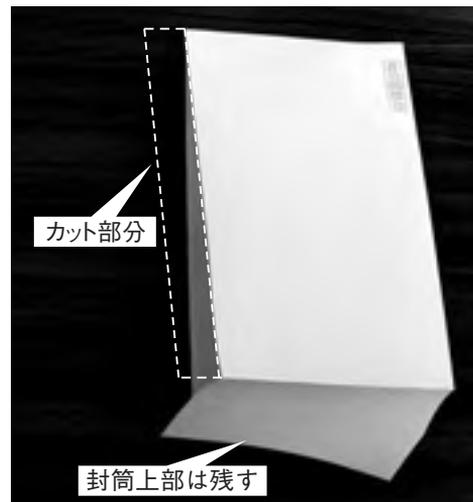
宮城県公文書館におけるマスキング事例

宮城県公文書館 小野寺克己

当館は、開館してから満3年にしかならず（平成13年4月開館）、資料の取扱いも含めてその運営については、まだまだ模索中という段階です。このため当館独自の取組みを行うというところまでは至っておらず、非公開部分のマスキングについても、他の公文書館の事例を参考にして、次のような方法を取り入れております。

【袋掛け用封筒】

- ① 市販されている「角2」又は「角3」サイズの中性紙製の封筒を加工して使用。
- ② マスキングする部分の横幅に合わせて封筒の片側の糊付け部分をカットする。
- ③ 縦幅の調整は、もう一方にスリットを入れて折り曲げる。



【袋掛け】

① 封筒の底部を上にしてマスキングする部分に被せる。

② 封筒上部のフタの部分（スリットを入れて折り曲げた部分）を差し込む。

※ 差し込んだ部分の糊付けなどは特にしていない。



【完了状態】

※ フタの部分を差し込んでいるため、そのままの状態でも引っぱったとしても簡単には外れない。

